

ナガミルの有効活用

機能性成分を配合した化粧品開発につながりました

ナガミル *Codium cylindricum*

- ・ 緑藻の一種で、太さ約1~2cmの円柱状の藻体が長さ数十cm~数mまで枝分かれしながら生長
- ・ 比較的穏やかな内湾などの砂・礫の海底に分布
- ・ 県内の一部地域では食用に利用
- ・ 藻体に含まれる機能性成分 **シフォナキサンチン** は、**抗酸化・抗老化作用** を有する



化粧品への活用が期待

ナガミルの採取

- ・ 採取の適期は、**夏季（8月頃）**
（シフォナキサンチン含量が夏季に高く、25℃以上では藻体が衰退するため）
 - ・ 採取前には、**生育状況の把握**が重要
（年によって分布場所や生育量が変化する場合があるため）
- ※採取にあたっては、天然資源のため**資源管理（とりすぎない）**の観点も重要

茹でナガミルの酢味噌あえ



目視による探索



熊手（レーキ）と夕毛網で採取



海水で良く洗浄しゴミ除去



計量して出荷

ナガミルを活用した化粧品開発

- ・ ナガミルの機能性成分を配合したエイジングケア化粧品が発売（2023年11月）

漁業者

採取・出荷

加工業者

乾燥粉末化・原料供給

〔生海藻は乾燥粉末化すると重量が1%程度になる〕

化粧品メーカー

精製・商品化



エイジングケア化粧品



三重県水産研究所 企画・水産利用研究課

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒517-0404 志摩市浜島町浜島3564-3

TEL (0599)53-0130

FAX(0599)53-2225

(2024年4月発行)